

平成 28 年度 事業報告書

社会福祉法人杉の子会

1 事業

10 月より NPO 法人 IPPO より障害福祉事業さんば支援センターの運営を譲渡されました。

それに伴い、上坂部に 2 階建て古家を買取り改修工事をしました。

資金は福祉医療機構からの借入金 30,000,000 円と寄附金で賄いました。

2 施設整備事業

28 年度は杉の子分園改修工事、太陽の子大型改修工事の整備事業を行いました。

【杉の子保育園分園改修工事】

5/27 「福祉環境設計舎ゆーず」と設計監理の契約を取り交わしました。

6/13 現場説明

下記の通り入札を行いました。

入札日時 : 平成 28 年 6 月 24 日 午前 10 時～

場 所 : 杉の子保育園分室

入札立会人: 福元理事長・寺島理事・小林評議員

入札業者 : 宮崎建設・三和建设・登工務店

登工務店(落札価格: 9,650,000 円)に決定し、契約を交わしました。

9/17 引き渡し。

【太陽の子保育園大規模改修工事】

7/19 「福祉環境設計舎ゆーず」と設計監理の契約を取り交わしました。

8/19 現場説明。

下記の通り入札を行いました。

入札日時 : 平成 27 年 9 月 5 日 午後 2 時～

場 所 : 常光寺福社会館

入札立会人: 福元理事長・吉澤理事・鶴田理事

入札業者 : 宮崎建設・大松建設・荻田建設

宮崎建設(落札価格: 52,400,000 円)に決定し、契約を交わしました。

1/30 引き渡し。

【さんば支援センター内装工事】

5/13 に「福祉環境設計舎ゆーず」と設計監理の契約を取り交わしました。

5/30 現場説明

下記の通り入札を行いました。

入札日時 : 平成 28 年 6 月 10 日 午前 10 時～

場 所 : 杉の子保育園分室

入札立会人 : 福元理事長・寺島理事・吉澤理事

入札業者 : 登工務店・リフォーム工房堀口

リフォーム工房堀口（落札価格：9,420,000 円）に決定し、契約を交わしました。

8/31 引き渡し

3 定款変更

9/26 障害福祉サービス事業追加とさんば支援センターの基本財産追加。

1/13 平成 29 年 4 月 1 日施行社会福祉法改正に伴う変更。

4 寄附金

| | |
|-----------|-------------|
| 杉の子友の会より | 1,500,000 円 |
| 太陽の子友の会より | 2,000,000 円 |
| けま友の会より | 1,500,000 円 |
| 個人より | 2,340,000 円 |

5 会議

| | |
|------|-----------------|
| 理事会 | 9 回（内、書面議決 1 回） |
| 評議員会 | 5 回 |
| 監事会 | 1 回 |

6 その他

機関誌「ふたば」を 6 月、12 月 年 2 回発行しました。

2016年度 杉の子保育園事業報告

園児在籍数

| 年令/月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 0才児 | 5 | 7 | 8 | 8 | 8 | 9 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| 1才児 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| 2才児 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 3才児 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 4才児 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 5才児 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| 合計 | 76 | 78 | 78 | 78 | 78 | 79 | 82 | 82 | 81 | 81 | 81 | 81 |

・職員体制

【正規職員】 施設長1名 主任1名

保育士 12名(有村保育士 産休11月～ 佐野保育士 育休復帰 11月～ 橋本保育士 病休10月～)
 栄養士 2名

【準正規】 保育士 2名

【パート】 保育士/ 7h: 4名(内1名休日担当、田島 産休1月～ 堤 介護休職3月～) 4. 5h: 1名
 調理補助/ 3. 5h: 1名 用務/3h: 2名(朝、夕) 延長補助/4h: 1名 保育補助/7h: 1名 事務/6h: 1名

2. 開園時間

午前 7:00～午後19:30 (保育標準時間:7:00～18:00 保育短時間:8:30～16:30)

休日保育:午前8:30～17:30

3. 事業計画重要課題

- ☆ 全面改築が終了し、晴れて4月より今年度は本園、分園共にスタートしました。定員を84名に引き上げ拡大を図るものの、昨今の保育士不足に悩まされ最終人数は81名までとなりました。
- ☆ 本園に続き、分園のリフォームに取り組みました。夏のプールの時期に全クラスを本園に移動し保育を行いました。分園は奥の保育室2室の壁を取り払い行き来ができる状態にしたことでリフォーム後の保育では子どもたちの様子を見通すことができ、かなり保育の連携が容易くなりクラス間でも交流の幅が広がりました。
- ☆ 前年度に引き続き、保育士と栄養士と一緒に食育活動に力をいれてきました。特に昨今の調理事情は器具を使わずレンジで行うだったり、簡単にスーパーで購入できる状況の中、時間をかけて完成を楽しむに味噌作りやしそジュース、梅ジュース、プランター栽培なども1才児クラスから取り組みました。また、出張和え物と称して栄養士が子どもたちのまえて副菜の仕上げを行ったりする取り組みは0才児クラスから始めました。
- ☆ 今年度の合研は[↓]四国地方の島根県で行われました。初日の舞台アトラクションは広島、反原発、戦争反対への願いを全国の仲間とともに紡いでいく取り組みを園で保護者にも訴え、一緒に大きなタペストリーを作成その願いを携えて集会に参加しアピールしました。
- ☆ 兵庫の考える集会に参加された保護者から土佐いくこ先生を園で呼び学習会をしたいと声が上がリ父母の会と共催で学習会に取り組みました。就学前、また兄弟関係で悩む保護者から心が軽くなる時間だったと好評でした。今後も様々な形で学習の場を設けていけたらと思いました。
- ☆ 子ども子育て支援新制度施行から2年たち様々な問題点が明るみになってきているなかで保育士の処遇改善や尼崎市の保育料の値下げなどを訴える秋の署名では全体学習会とさみだれ学習会を行い制度の問題点を保護者と共に共有しました。

【保育実践】

- ① 前年度建て替えて培った乳児、幼児関係なく保育交流を定期的につづき取り組みは引き続き行ってきました。クラス間交流が増える事で子どもへの共通認識を持ちやすく職員全体で保育を考えていく土台ができあがってきました。
- ② 年長交流では市制100周年記念行事として法人保育園会で運動会にとりくみました。小田地区の民間保育園で交流を数回もち、打ち合わせて等で職員でも交流を持つことで地域の保育園の様子や各園の特色を垣間見ることが出来ました。また、オールあまっこ年長交流では公立保育所との交流を持ち、取り組みをとおして経験豊富な公立保育士の働きかけ方なども参考になりました。
- ③ 各関係機関との連携では要保護対象児童への見守り方など、警察、中学校など連携をさらに広げ意見交換を行いました。ステップファミリーの増加など家族の在り方が多様に立っているなか、どう対応していくのかが課題になっています。
- ④ 小学校への接続に関してはオールあまっこの取り組みを清和小学校で行ったり、児童ホームへの見学交流を3月の持つことができ年長クラスの子どもたちにとって不安だけでなく期待へとつなげていく事ができました。

【子育て支援】

- ① 年長クラスは個人懇談を例年に続き行いました。就学に向けて言葉や文字への興味、集団への姿勢など保護者との共通認識を一致させていきました。
- ② 「ちいさいなかま」の交流会を年3回持ちました。夕食を一緒に食べながら平和について交流したり甘味料への認識など食への関心を深める学習にも取り組みました。

4. 健康 保健

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 毎月 | 身体測定 |
| 5月 | 小児科検診 手足口病 |
| 6月 | 眼科検診 耳鼻科検診 歯科検診 歯科指導 |
| 7月 | 発達相談(2名) ヘルパンギーナ 転倒による口腔内裂傷受診(1名) |
| 8月 | 溶連菌感染症 |
| 9月 | |
| 10月 | 小児科検診 カウプ指数 |
| 11月 | 発達相談(2名) ロタウイルス |
| 12月 | インフルエンザ |
| 1月 | 溶連菌感染症 |
| 2月 | 発達相談(2名) |
| 3月 | 亜脱臼受診(1名) 指づめ(1名) |

5、衛生・管理

7月 ゴキブリ駆除(本園、分園、分室)

6、特別保育事業

一時保育延べ人数(休日保育を含む)

| 年令 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 0 | | 1 | 0 | 1 | | | | 1 | 4 | 2 | 8 | 4 | 21 |
| 1, 2 | 15 | 20 | 11 | 15 | 14 | 16 | 10 | 12 | 9 | 6 | 5 | 7 | 140 |
| 3, 4, 5 | 15 | 5 | 14 | 17 | 20 | 13 | 10 | 12 | 10 | 4 | 4 | 4 | 128 |
| 合計 | 30 | 26 | 25 | 33 | 34 | 29 | 20 | 25 | 23 | 12 | 17 | 15 | 289 |

前半期は3. 4. 5才児の利用が多い、また予約では10名以上であったとしても当日キャンセルが発生し当初に予定より大幅に減る事もあるため人為配置が難しく後半期より予約制を入れる。前月の20日をメ切に人数の把握を行った。転職や再婚など家庭都合で後半期は幼児の利用者が減る。0才児の利用は全体の利用者の数が少なくとも職員配置は多く必要になるため保育士確保が非常に困難になる。

延長保育延べ人数

| 年令 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 0 | 19 | 21 | 23 | 27 | 38 | 47 | 67 | 74 | 48 | 73 | 57 | 53 | 537 |
| 1, 2 | 139 | 123 | 151 | 131 | 139 | 136 | 160 | 158 | 156 | 180 | 175 | 187 | 1,835 |
| 3, 4, 5 | 145 | 147 | 153 | 137 | 129 | 230 | 157 | 158 | 141 | 150 | 162 | 276 | 1,985 |
| 合計 | 303 | 291 | 327 | 295 | 306 | 413 | 387 | 390 | 345 | 403 | 394 | 516 | 4,357 |

大阪や京都へ努める方が兄弟児で延長を利用するため長時間での延長利用が増える。とくに乳児が多くギリギリまで別保育を行い合同保育への混乱を避ける体制作りが大変でした。
電車の遅延も頻繁になり19:30を超えてもお迎えが来れず、近所に親戚が住んでいない家庭が多いので代理でお迎えをお願いすることができないため20時以降も残り保育士の疲労も重なりました。
19:30までの保育を行っているのが小田地区では杉の子のみなので必然的に延長利用家庭が増えることに。

7. 障害児保育

保護者からの要求を受け古川先生の発達相談につないでいきました。
相談後の対応についても保護者、担任を交えて適宜懇談会を行ってきました。理解の共有を図っています。

園全体ではクラス会、フロア一会議等で行い全体のものにしていく努力を行っています。

8. 地域の子育て支援事業

あそぼう会

毎週火曜日、水曜日の10:00~11:00 0才児~未就学児の親子を対象に行ってきました。
昨年度までは水曜日にスーパーコア潮江の2階にて子育て広場を行ってきたのですが
賃料が高騰し継続が難しくなったため、2回とも杉の子保育園で行う事にしました。
取り組む内容によって参加者の増減はありますが、特に給食試食会は毎回楽しみにされています。
2才児の利用が多いので次年度には幼稚園等に入園されていくため、利用者が減る事を見越して
0才児~の参加者をどう増やすかが課題になります。

かるがも教室

小田保健支所にて偶数月の昼から行っている赤ちゃん支援です。出生率の低下もあり
昨年度は20組以上の参加がありましたが今年度は10組前後です。それでもわらべうたや
手づくりおもちゃを通して子育ての中で大切にしていってほしいことなどをお話し次へと繋げています。

9. 実習生 ボランティアの受入れ

- 5月— 頌栄短期大学 2年生(1名) 6. 7月— 大阪芸術短期大学 2年(1名)
 8月— 関西保育専門学校 2年生(1名)
 9月— トライやる 小田中 2年生(3名)
 11月— 尼崎工業高校 2年生(4名)
 1月— 頌栄短期大学 1年生(1名)

毎週火曜日 11月～1月 神戸大学4年生 論文研究の為受入

10. 避難訓練 健康教育 食育

- ① 法人内の防災委員を軸にしながら避難訓練を実施、地域との避難訓練を計画し杉の子、尼崎たんぽぽ 常光寺幼稚園との共同訓練を1回実施しました。

また警察の指導の下、不審者対応の訓練も行いました。自己でおこなっていたよりも視点が広がり、専門家の指導が入る事で気をつけていけないといけない事がより明確にわかり学びにつながりました。

- ② お誕生会などの保育士の出し物を活用し健康教育をおこなってきました。また、給食室と合同で毎月食に関する取り組みもおこないました。保育士と給食室と共同で作業していく過程により信頼を深まりました。次年度も継続的に進めていく予定です。
- ③ 栄養士が合研で「出前クッキング」を学び、課題にしていた乳児のクッキングの在り方を0才児はルッキング(見る)から始めるとして 目の前で副菜の仕上げを行ったり果物を向いたり、保育士ではなく栄養士が自ら子どもと触れ合うことを大切にしてきました。

11. 会議

乳児、幼児、主任、園長と責任者会議をもち、各クラスの会議としての流れを定着その中で、クラスによっては事務時間の保障が十分でないことがなどが議題となり、どの職員にも均等に事務時間を保証していくにはどうしたらよいのかなどを繰り返し話し合い様々な形で取り組んでいきました。

仕事の速度、内容の個人差、ベテラン、若手の差など いろいろな角度から検討しクラス会の曜日や時間の固定化とその上で声をかけあう、気に掛け合う、ことを確認しました。出来るだけ就業時間内で事務作業ができるよう努力を重ねています。

12. 研修

園内研修

| | |
|---------|---|
| 虐待の理解 | 国生 長谷川 雑賀 大城 有村 吉崎 橋本 森田 中畑 田中 源島 中川 假屋 船間 |
| 体育と運動 | 国生 長谷川 雑賀 大城 有村 吉崎 橋本 田中 源島 中川 假屋 船間 |
| わらべうた | 国生 長谷川 雑賀 大城 有村 吉崎 橋本 田中 源島 中川 假屋 船間 |
| 身体つくり乳児 | 国生 長谷川 大城 有村 吉崎 橋本 森田 中畑 田中 谷垣 源島 中川 假屋 船間 |
| 身体つくり幼児 | 長谷川 雑賀 大城 有村 吉崎 森田 中畑 田中 谷垣 源島 中川 假屋 船間 |
| 憲法 | 長谷川 雑賀 大城 有村 吉崎 森田 中畑 田中 谷垣 源島 中川 假屋 船間 |

園外研修

| | | | |
|-------------|---|-----------|----|
| 給食(法人園会) | 森田 | 発達障害理解(市) | 雑賀 |
| 食中毒(市) | 中畑 | 身体あそび(市) | 吉崎 |
| 保育セミナー | 国生 金淵 田中 船間 大城 橋本 雑賀 中畑 森田 源島 谷垣 假屋 中川 吉崎 | | |
| 兵庫の保育を考える集会 | 大城 金淵 橋本 雑賀 中畑 森田 山科 源島 谷垣 假屋 中川 吉崎 | | |
| 合研 | 中畑 田中 中川 假屋 | | |
| 給食シンポジウム | 中畑 森田 | | |

2016 (H28) 年度太陽の子保育園事業報告

園児在籍数

| 年齢月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 0歳児 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 |
| 1歳児 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 2歳児 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 3歳児 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 4歳児 | 14 | 14 | 13 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| 5歳児 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 合計 | 75 | 75 | 74 | 76 | 76 | 77 | 77 | 77 | 77 | 77 | 78 | 78 |

1、職員体制

[正規職員] 施設長1名。主任1名。

保育士 9名(平島保育士6月退職。阿尾2月5日～休職) 栄養士 2名

[常勤的非常勤] 保育士 2名。

[パート] 保育士7H1名。 4, 5H2名(午前1名。午後1名一延長保育対応)。

補助7H1名。 4, 5H1名。 朝3H1名。 午後5H1名。3H1名。

調理補助4H1名

2、開園時間

午前7時～午後7時30分

保育標準時間7時～午後6時。

事業計画重要課題

・室内大型改装工事は、補助金を得る事が出来、外壁。屋上。3歳児・4歳児保育室。休憩室。0歳児室。事務所。玄関。階段。トイレと大型の改修が実施できました。ホールの壁の塗・張替もされ、全体に明るい園舎になりました。電気は、LEDに変更。工事期間は、前年の経験もあるので大きな混乱もなく実施できました。園庭が使用できない時期も園外に出かけたり、乳児は、ホールに行ったりしてきました。保護者や近所からのクレームもなくスムーズにいきました。

・給食室との連携を強めていくということでは、給食室から発信でお手伝い表が回覧され保育に活かされている。栄養士が子ども達の前で和えたり食べる様子も見に回る事が増え子ども達も給食室の先生を認識する機会が増えています。また、季節ごとにこいのぼりランチクリスマスだけでなくうんどうかいがんばれランチ。祝う会ランチや卒園おめでとうクッキーメダルなど提供されてきていて保育内容と連動した内容が増えてきています。クッキング計画が出され給食室からのアドバイスももらい進められています。年長児は、米とぎ当番で調理室の先生に見守ってもらうことができている。保護者に対しては、絵で見られる献立表も作成してもらえているので子ども達も「今日は〇〇」と楽しみに見えています。延長保育児に対して検食展示は、写真で実施しています。アレルギー対応についても丁寧に実施されています。

・子どもたちの最善の利益保障のための取り組みとしては、保育内容改善の署名だけでなくネットで「保育所落ちた。日本死ぬ」の反響で保育所に対して全国的に待機児問題、保育士不足問題が広まり、関心

が高くなっています。尼崎市の民間移管計画に対してのパブリックコメントを保護者にも依頼していき
ました。国に対して、 保育指針改定に向けてのパブリックコメントは、保育士のみでの取り組みにな
りました。

<保育実践>

- ・各クラスで年カ리를立てそれに基づいて月案・週案をクラス会議を定期的で開催し計画、実践しています。
- ・幼児クラスでは、自由度を高める保育とは、という事で学習し取り組みが進められてきました。
- ・個々の成長と集団づくりが結びつくようにということでは、課題として残っています。
- ・リズム遊びは、園内で基礎を学習しなおすよう勧めている。また、身体の固さが気になる子ども達も多くス
トレッチやヨガなども取り入れたリズム運動の工夫もすすめています。
- ・年長は海合宿でゆりかご・ひまわり・杉の子・食満と交流。市政100周年の「運動遊び大会」で市内の年
長児が一堂に介して運動遊びを実施しその関連で交流会があったり、オールあまっこの取り組みで公立保育
所（園田）と園和北・レオ・田能っ子・ポッポ・南清水・園和・けま太陽の子との交流ができました。
- ・小学校とは、園田南小に去年参加した1. 17の取り組みの参加要請し参加させてもらったり、作品展の見
学に行きました。
- ・0歳児クラスは、法人内3園で祝う会の取り組みの交流をしました。
- ・身振り・ごっこあそびについての学習をしたいという想いが総括の中で出てきましたので、次年度の課題と
していきます。
- ・運動遊びについては、先生をお招きして、指導してもらうことで、子どもたちのやる気度UPにつながると
ともに、縄跳びの取り入れ方の学習ができました。
- ・ワークショップの取り組みは、5歳児2回・4歳児3回そして3歳児がはじめて取り組みました。3歳児は、
3月の時期で期待も持てました。5歳児はあと1回あっても良かったかもという事でした。ワークショップ
でナビゲーターの声かけから、子どもの表現した作品へのアドバイスの仕方を学ぶことができました。乳児
期から〇に思いを乗せて豊かに表現する事。イメージする事。の過程のことや新たに、輪郭を失う描写や体
を書かない描写のふしぎな世界についての解明は課題となりました。

<子育て支援>

{家庭との連携}

- ・新入園児については、0・1歳児クラスで家庭訪問を実施することで、子どもの家庭環境の理解が深め
られたことと保護者とゆっくり話ができ信頼感を深められたという報告がされています。
- また、慣らしの時期に食事時間に来てもらいお母さんに食べさせてもらうことで、保護者の対応も見られる
し保護者が保育士の対応など見る機会にもなり信頼関係が築きやすく離乳食の進め方を見極める機会にな
りました。1歳児の新入園児も一緒に遊ぶ時間をその時期に取ることで安心感を持ってもらえた感じでした。
その後のクラス懇談会は、映像も使って日々の姿を見てもらう工夫や保育士は複数で参加して行くようにし
ました。年長クラスでは、2月に保護者の就学に向けての不安が感じられたので、個人懇談を実施しました。
- ・園だよりを全クラス・給食室のお便りを1冊にまとめて、1日発行するようにしました。2年目でアン
ケートを取ると「日頃の子どもたちの姿や取り組みが伝わります。他のクラスの様子も知れて楽しいです。
写真も入れてもらうともっと読みやすいかな。いいことばかりでなく気になる事も書いてください」とい
った意見も返していただきました。
- 「ちいさいなかま」は、子育てふれあい部で交流会を計画したり、おすすめ記事を紹介しています。

・保護者会の役員会の際保育をしています。(月1回6:30~7:30) また、父母の会・保育園・太陽の子会の責任者が集まり3者協議会を毎月1回実施し交流してきました。

・バザー・太陽の子まつりの実行委員会を職員と保護者で実施。保護者の負担を軽減するための実行委員会のあり方の見直しを進めてきました。

3、健康・保健

毎月：身体測定。

4月：インフルエンザ・おたふく・結膜炎

5月：小児科健診（5名に指導あり）・嘔吐・ロタ・ノロ

6月：眼科健診（1名異常）耳鼻科健診（6名異常）、歯科健診（16名虫歯あり）アゼノウイルス。発達巡回診断（2名受診）

7月：カウプ指数計算。ヘルパンギーナ。アゼノウイルス

8月：プール熱・ヘルパンギーナ・おたふく・アゼノウイルス。

9月：プール熱・おたふく。

10月：小児科健診。おたふく・嘔吐。巡回発達診断（2名）

11月：川崎病診断1名。おたふく。RS

12月：嘔吐下痢・ノロ。溶連菌感染症。インフルエンザ

1月：嘔吐下痢・ロタ・RS・溶連菌感染症。インフルエンザ。

2月：下痢・鼻骨骨折（園で）。発達巡回診断

3月：溶連菌感染症・嘔吐。転倒しオデコ打撲受診

衛生・管理

園庭周辺一ぐるっぺ（週2回）6月：ムカデ駆除。屋上と周辺腐葉処理。8月：ゴキブリ駆除

4、特別保育事業

・一時預かりはのべ84名

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-------|---|---|----|---|---|---|----|----|----|----|----|----|
| 0歳児 | | | | | | | | | | | | 2 |
| 1・2歳児 | 1 | | | | | | | 7 | 4 | 16 | 15 | 14 |
| 3歳以上 | 4 | 2 | 10 | 2 | | 3 | | 1 | 1 | | 2 | |
| 合計 | 5 | 2 | 10 | 2 | 0 | 3 | 0 | 8 | 5 | 16 | 17 | 16 |

・延長保育

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実利用者数 | 26 | 25 | 30 | 29 | 19 | 22 | 27 | 27 | 26 | 28 | 22 | 21 |
| 延べ利用者数 | 190 | 181 | 210 | 178 | 180 | 183 | 210 | 245 | 215 | 187 | 216 | 229 |
| 専任の保育士が1名いることで、子どもの状況を記録し担任とも意思統一するように心掛けている。 | | | | | | | | | | | | |

・障害児保育

古川先生の発達巡回相談を年3回実施してもらい診断を受け対応の仕方を指導いただいています。

職員会議では、毎月子どもの姿・対応について資料が出されているが深めるのに課題があります。

・グランドパバママ

1回目を例年の5月だとばたばたした中での行事となっていたため6月に実施。乳児で新入園児は、姿をみて泣いてしまうこともあり、参加対象・内容の検討が課題となりました。後半は、伝統芸鑑賞や大きくなったねの会で、子どもたちの姿を観ていただきました。餅つきは、こどもたちの出し物も見てもらいその後おもちつきを楽しみました。

地域子ども・子育て支援事業

・お出かけあそぼう会

夕方・丸橋公園に出かけて小学生。幼児と遊ぶ機会をもってきました。今年度は、3回実施。掲示版やブログでお知らせしていますが、そこに来ている子どもたちと遊ぶようになっていきます。夏には、平和の集いを実施し部員の保護者や小学6年生に朗読で参加してもらおうのが恒例になってきています。

・あそぼう会

木曜日を2歳以上としていたのを、0歳児でも受け入れ火・木両日開催にする。がおおむね2歳の子たちは、木曜に来園。月はじめに500円（ちいさいなかまを付けて）で次回からは0円対応に変更。出席カードを作成し、シールをはってもらおうようにしたりお誕生会も毎月実施身体計測もすることで喜ばれています。おもちゃ作りや保護者のお楽しみ製作を取り組むということも喜ばれていました。子育て新聞を地域をひろげて2500枚配布しています。

5、実習生・ボランティアの受け入れ

- ・実習は、5月—頌栄1名。6月—大阪総合保育大学1名。8月—花園大学1名。9月—園田学園女子短大2名。11月—園田学園女子短大2名。2月—花園大学1名。
- ・ボランティアは、6月に実習に来た人が2週に1日を2か月入りました。

6、避難訓練・健康教育

防災・安全・健康委員会が計画的に年間計画に沿って実施しています。普通救命講習の技能の維持のため2年から3年間隔で講習を受けることになっており、計画的に講習参加や集団での受講会を実行してきました。6月の歯科健診時に衛生士さんに歯をだいじにすること。歯磨きの大事さなど子どもたちに話をさせていただきました。

7、会議

職員会議は、全員出勤の土曜日は、土曜日実施。それ以外の月は、平日の13時30分～3時すぎまでで実施。会議資料は、前日提出がほぼ実施されるようになり、事前に資料を読んで会議参加することで、クラスの様子は、認知されやすくなってきているが、今後、クラスの課題も資料に書き込んでおくようにすることで、短い時間の中で論議ができてみんなが参加することができる会議を工夫したい。

リーダー会議は、職員会議では、論議できなかった内容や緊急の意思統一の際実施しました。

クラス会議は、定例され進められてきています。

8、研修

5園研修

| 月 | 日 | 内容 | 参加者 |
|---|----|-------------|--------------------------------------|
| 5 | 24 | 火 わらべうた | 岡田・広瀬・加山・窪・福田・古本・小阪・下野・伊藤・阿部・高林・金洩 |
| 6 | 22 | 水 虐待への理解と対応 | 岡田・広瀬・加山・窪・福田・安藤・浦・古本・上杉・小阪・下野・伊藤・阿部 |

| | | | | |
|----|----|---|-----------|---|
| 7 | 6 | 水 | 運動遊びの指導 | 岡田・広瀬・加山・窪・福田・古本・上杉・小阪・下野・伊藤・阿部 |
| 10 | 26 | 水 | 自民党改憲法案 | 岡田・広瀬・加山・窪・福田・安藤・清水・浦・古本・上杉・小阪・下野・伊藤・阿部 |
| 11 | 22 | 火 | 乳幼児の身体づくり | 広瀬・加山・窪・福田・安藤・古本・上杉・小阪・下野・伊藤・阿部・小林 |
| 11 | 28 | 月 | 乳幼児の身体づくり | 岡田・広瀬・加山・窪・福田・古本・上杉・小阪・下野・伊藤・阿部 |

・法人園会研修

| 月 | 日 | | 内容 | 参加者 |
|---|----|---|-----------------|-------------------------|
| 5 | 20 | 金 | 泥だんごづくり | 福田 |
| 5 | 30 | 月 | 手あそび・わらべ歌・伝承あそび | 上杉・古本 |
| 6 | 2 | 木 | 摂食機能の発達と食事の援助 | 上杉・古本 |
| 8 | 1 | 月 | 子どもの育ちと生活リズム | 広瀬・加山・福田・古本・上杉・下野・伊藤・阿部 |

・保育セミナー（4～5月）

（岡田・広瀬・清水・加山・窪・安藤・福田・浦・古本・上杉・下野・伊藤・阿部・高林・小阪）

・兵庫の保育を考える集会（7月5日）

（岡田・広瀬・清水・加山・窪・安藤・福田・浦・上杉・古本・下野・伊藤・阿部・小阪）

・全国合研（8月20～21日）一（加山・浦・小阪・古本・上杉）

・給食シンポジウム（7月30・31日）一清水

・全障研（8月7日一金沢）

（ 文責 小阪美恵子 ）

2016年度 けま太陽の子保育園事業報告

園児在籍数

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 園児合計 | 一時保育 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 4月 | 4 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 70 | 8 |
| 5月 | 5 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 70 | 10 |
| 6月 | 5 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 70 | 0 |
| 7月 | 5 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 70 | 3 |
| 8月 | 5 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 70 | 0 |
| 9月 | 6 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 71 | 0 |
| 10月 | 7 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 72 | 0 |
| 11月 | 8 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 73 | 0 |
| 12月 | 8 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 73 | 1 |
| 1月 | 8 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 73 | 3 |
| 2月 | 8 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 73 | 0 |
| 3月 | 8 | 12 | 15 | 14 | 13 | 11 | 73 | 11 |
| 合計 | 77 | 144 | 180 | 168 | 156 | 132 | 858 | 36 |

【職員体制】

(正規職員)

施設長 1名、主任 1名

保育士 8名 (堀口保育士、畑山保育士 6月～産、育休)

(常勤的非常勤職員)

保育士 5名 調理師 1名

(パート) 保育士 7h 3名 5h 1名

早朝 5h 1名、延長 3h 1名

調理補助 4h 1名 5h 1名

【保育】

*今年度は、定員を50名から60名に増員し、4月に12人の新入园児を迎え70人でのスタートだった。

6月に産、育休に2人の正規職員が入ることになったが、一人ひとりが力をつけるチャンスと捉えるようにした。また、準職員2人がこちらの要請に応え、正規職員になって幼児保育を担当した。皆、不安があったと思うが、乳児、幼児で建物が離れていても互いに意識しあい、理解できるよう努力していった。特に前半はそれぞれが余裕がなくて不十分さがあったが、後半には乳児グループのリーダーが率先することで、雰囲気が変わっていった。

2歳児クラスが15名と多かったので、フリースペースを利用して、活動や時間によって、広がり区切って保育を進めることで、安定した生活を早く保障できた。

また、常に導線を見直し、混乱のないよう工夫をしていた。若い職員二人が保育をリードし、つまずきもありながら自分たちの保育を実践していった。時には「やり切らなければ！」と気負い過ぎることもあり先輩保育士から注意もされていた。まわりにうまく伝えられないもどかしさも経験し、力に変えていったよう。

また、年長児の姿に問題を感じたことがきっかけで、いろんな職員が午睡なしの時間に保育に入り、関わることで問題を共有し、担任まかせにすることを防げた。すぐに子どもの姿がガラリと変わった訳ではないが、少なくともいろんなおとなが思いを寄せていることは伝わったと思いたい。

年長クラスの担任は、今年度正規職員になったばかりで大変だったと思うが、回りのアドバイスや助けを受け入れ、プラスに変えていった姿勢は他の職員にもいい影響になった。

【職員集団作り】

以前に経営懇の研修で学んできた「保育カンファレンス」に取り組んだ。今回は若い職員を対象に非常勤の職員も参加して数人で、日頃の悩みやわからないことを出し交流する場を持った。

はっきりとしたテーマを持たないこととベテラン職員が入らないことで、話しやすい雰囲気になり、口火を切った保育士は、言葉にするのを苦手にしてしたが、自分の内面を外に出せたことは少し自信につながったようだ。

今後も取り組んでいきたいし、若手でなくても立場の違いでそれぞれ悩みはあるので、試みていきたい。

【家庭との連携】

日頃の保育の中では送迎の際にできるだけ保護者と会話するように各々努力しているがもっとゆっくりと話したい時には個人懇談を、随時行ってきた。

父母の会が取り組むアンケートで、すぐに口頭で伝えられるようなことでもアンケートに記入されているので、もっと、保護者が伝えやすいよう折に触れ「なにかありませんか？」と声に出し、「集金・ご意見ポスト」の利用等伝えていく。

また、けがをした子どもさんの保護者からの要望で、相手のお子さんの保護者との話し合いをもつ機会を設けたが、真意が伝わらず困難さを感じた。無論、けがをさせてしまったこちらの責任は深く反省しているが、その思いも相手の方の保護者に伝わらなかったように感じた。

起こってしまった事は仕方のないことなので、これからの教訓にしたい。けがの際の伝え方は、させてしまった方にもこちらの慎重な対応が求められた。

【子育て支援】

*地域保育 あそぼう会

毎週火曜日 実施

たいてい 10 組くらいで多いときは 15 組くらいになる。10 組以上の参加になると一人の保育士では手が回らないので急きよ補助を入れる場合もあった。

今年度は割りと固定した参加者で、毎週顔を合わせているので親子とも仲良くなり、会うことを楽しみに参加しているようだった。

毎月の園の誕生会への参加も定着してきて、お母さんが来られなかったらおばあちゃんとの参加もあった。

子育ての質問も気軽に保育士に寄せてきていた。3 月いっぱい幼稚園に通う子どもさんがほとんどなので、また、新しい参加者を増やしていきたい。

*おでかけあそぼう会・子育てカフェ

今年度は 合計6回開催した。

時間を保護者がお迎えのついでに参加しやすいようにしたり、親子で作ってあそぶ企画等取り組んだ。特に泥だんごづくりは卒園児も参加して賑わった。

今後は、外での参加者が少ないので検討したい。また、参加者が多すぎると、ゆっくりと話せないで工夫が必要。

【特別保育事業】

*一時預かり保育 のべ 36名の利用

今年度は、問い合わせが少なく、受け入れ人数が例年になく減少した。小規模保育所が増えた影響かもしれない。ほとんどは就労が理由で、その他出産や所用等あった。

*延長保育

利用人数

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0歳児 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1・2歳児 | 98 | 87 | 88 | 96 | 89 | 95 | 107 | 97 | 106 | 103 | 104 | 111 |
| 3歳児以上 | 120 | 115 | 119 | 108 | 123 | 119 | 135 | 120 | 98 | 89 | 118 | 130 |
| 合計 | 218 | 202 | 207 | 204 | 212 | 214 | 242 | 217 | 204 | 192 | 222 | 241 |

【職員研修】

*5園研修はゆりかご、ひまわり、杉の子、太陽の子と実施し様々な分野から講師に来て頂いている。毎回、非常勤職員も含めて参加している。

| 研修内容 | わらべ うた | 虐待への 理解と対応 | 体育指導 について | 憲法の 学習 | 今、求められる 乳幼児の体作 り (乳児) | 今、求められる 乳幼児の体作 り (幼児) |
|------|-----------|---------------|--------------|-----------|--------------------------------|--------------------------------|
| 参加人数 | 9 | 12 | 10 | 11 | 11 | 10 |

兵保連保育セミナー のべ 21人参加
兵庫の保育を考える集会 12人参加
全国保育団体合同研究集会 4人参加
法人園会研修

研修の内容は、報告書の閲覧と、その時々に応じて職員会議で報告し、共有している。

【会議】

* 職員会議

毎月の職員会議は全員出勤の土曜日はその日に行い、他は平日の13:30~15:00の時間に行った。日々の保育では意見交換ができたが、テーマをしぼっての討議ができていない。

グループリーダーと複数で会議内容を検討することが十分できなかったのが今後の課題としたい。

総括会議は前期、後期の2回実施、クラスや、グループで討議した後、もう1度会議を持ち、全体で報告と討議をし、実践を深めることができた。

各年齢で大切にしたいこと、取り組みの工夫等、共通理解することができた。

時間が足りなくなるので会議を繰り返すよう試みた。今後も内容、時間等さらに工夫ができないか検討したい。

【実習生受け入れ】

9月5日~17日 園田学園女子大学より 1名受け入れ

11月7日~19日 園田学園女子大学より 2名受け入れ

2016年度 さんぼ支援センター 事業報告

さんぼ支援センターは 2016年10月より 社会福祉法人傘下としてスタートし半年経過しました。この間、新たに短期入所事業を始め、軌道に乗せることができました。また、移動支援や居宅介護事業・日中一時支援事業も 少しずつ拡大してきました。運営の安定化はまだ道半ばですが、今後一年の土台を固めてこれたところです。

実施事業について

*移動支援は 利用者が21名となり 時間数は 280時間を受け付けるようになりました。

利用者からの紹介や飛び込みの相談から利用に結びついた件数が2件ありました。短期入所事業をするようになって、紹介が受けやすくなったこともあります。移動支援から短期入所または短期入所から移動支援へと利用が拡大していきました。

ヘルパーの確保も大きな問題ですが、利用者からの紹介や保育士の応援で充実しています。男性ヘルパーも確保でき、さらに利用拡大が望めます。

*居宅支援は 15-16時間 2名の利用です。

数は増えていませんが、問い合わせは よくあり、今後、条件が合えば積極的に受け入れていきます。

重度訪問介護については、利用者の紹介が他事業所からありましたが 実現できていません。居宅支援は自宅に伺って、身体介護や家事援助をする支援ですヘルパー資格を必要とします。今後、ヘルパー体制と研修を重ねて、拡大していく分野です。

*日中一時支援は 日数 11-12日 を達成しています。

保護者ニーズの高い事業で、これまで重視して取り組んできた事業です。単価が低いので一昨年は 請願署名を集めて 議会で審議していただき、議員の中で、日中一時単価のあまりの安価さに改善の指摘が出されたことはこれまで、日の目を見なかった問題提起として一定の役割を果たしました。

取り組む事業所は少ないですが、さんぼ支援センターは 尼崎市全体の日中一時事業の1割を担うほど重視しています。

新しい施設になり、キッチンの好条件を生かしてのクッキングや食事会ができています。ミニワークショップもいろんな形で実現できました。利用者の交流の場でもあり、発達と成長のかなめでもあるという位置づけで大切にしてきました。

*短期入所は 月 3 回 利用者 9 人を達成しました。

短期入所担当スタッフの研修と意思統一を経て実施しました。やはり、いろんな点で改善がその都度必要となり、回を重ねて形づくりを進めてきました。定数 3 でも夜間の安心安全のため、複数スタッフを確保しています。夜間スタッフや朝食スタッフの体制をとれたことで 内容も定着してきました。

利用者のニーズは高く、今後利用したいという申し出も複数あります。

自立のための取り組みが 少しずつ進められており、荷物管理から清掃・食事配膳・あとかたづけなど、今後見通していきたいと思います。

人材育成と研修

ヘルパー会議を 2 回実施しました。インシデントアクシデント報告などの交流と共有は、大切にしてきました。利用者のもちものの紛失や指示の不徹底によるヘルパー未着という大きな事故もありましたが、発見、対応ができたことで大事に至らずに済みましたが、今後の教訓にしていくための対策を実施しています。

保護者対応

*個別支援計画にもとずいて 半年に 1 回の個別面談をしました。

個別面談では、いろんな場面での利用者の様子や一年間の変化・成長をお互い確かめ合いました。お家での様子を聞かせていただくと、より一層利用者の内面の成長がわかり、信頼関係が強まっていくことを感じました。

また 保護者の思いは、この先の諸問題を見通しつつ、今何をしておこなうてはいけないかを率直に出されます。答えるべきところはできるだけ努力して答えていかねばという思いになりました。

*短期入所実施に当たってのニーズのききとりで、事業に対する確信を得ることができました

短期入所というのは緊急一時保護に値する取り組みで、何か、事あれば対応できるようにというのが趣旨です。しかし、さんぼの力量では到底「いつでもどんな場合でも、受け入れられる」わけではありません。また、どの利用者も他の事業所に通い短期入所を利用されています。その上でさんぼでの短期入所がどういう意味を持つのかを、お聞きする機会がありました。保護者は「親元から離れなくてはいけないときがいつか来ることは確かです。その時には誰の手にも託されるようになってほしいです。いろんな場面で、いろんな方に心を預けられるようになってほしい。そのためには、親元では自立にむけてなかなか取り組みにくいことをさんぼさんでしていただけることは 信頼できる場所で自立へのステップが経験できることなのです。」と言われました。

切実な願いなのだとしの声を聞かせていただき大いに励まされました。

夜間の見守りは スタッフにも負担をかけますので慎重に配慮しつつ進めていくところです。
アンケートなどで ニーズを聞き取り、時間・曜日・内容生かしていきました。

2016 年後半の計画

| 毎月 | コーディネート会議 さんぽ職員会議 | | |
|-----|--|--------------------------------|--------------------|
| 月 | 全体 | 利用者 | その他 |
| 10月 | 個別懇談 個別支援計画(後半)の説明 各種マニュアルの改正 短期入所 月1回 実施 支援センターだより発行 | 田舎であそぼう | |
| 11月 | 個別懇談 短期入所実施 月2回 短期入所担当支援員会議 避難訓練 支援センターだより発行 | ラーメン大会 | 親子まつり参加 |
| 12月 | ヘルパー研修 ケース検討会議 短期入所実施月3回 支援センターだより 一般むけ発行 | 抹茶クッキング | きょうされん 署名行動 |
| 1月 | 避難訓練 短期入所実施3回 支援センターだより発行 | お正月あそびの会 | |
| 2月 | ヘルパー会議・研修 短期入所実施3回 支援センターだより発行 | 簡単バッグづくり | |
| 3月 | 短期入所実施3回 支援センターだより発行 | 美術館へ行こう オリエンテーリング (農業公園) | きょうされん署名 統一行動参加 |

